
さぬき市
市民・中学生合同まちづくり
ワークショップレポート

2022（令和4）年10月
香川県 さぬき市

～ 目 次 ～

開催概要	1
第1回：勉強会の実施内容	1
第2回：ワークショップの実施内容	2
【実施概要】	2
【グループ発表と情報の共有】	2
1 産業・観光グループ	2
2 安全・安心・環境保全・市民協働グループ	5
3 教育・文化グループ	8
4 福祉・医療グループ	11
5 中学生グループ①	14
6 中学生グループ②	17
第3回：ワークショップの実施内容	20
【実施概要】	20
【グループ発表と情報の共有】	21
1 産業・観光グループ	21
2 安全・安心・環境保全・市民協働グループ	22
3 教育・文化グループ	23
4 福祉・医療グループ	24
5 中学生グループ①	25
6 中学生グループ②	28

市民・中学生合同まちづくりワークショップレポート

開催概要

	第1回	第2回	第3回
開催日時	2022（令和4）年 7月30日（土） 10:00～12:00	2022（令和4）年 8月6日（土） 10:00～12:20	2022（令和4）年 8月20日（土） 10:00～12:00
テーマ	持続可能なまちづくりに 向けての基礎を学ぶ	さぬき市の課題と 解決策を提案する	さぬき市版SDGs を創る
主な内容	パワーポイントによる 勉強会	ワークショップの実施	
参加条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ さぬき市内在住又はさぬき市内へ通勤、通学している18歳以上の方 ・ さぬき市内の中学生 ・ 以上の条件を満たす方で3回とも参加できる方 		

第1回：勉強会の実施内容

開催日時	2022（令和4）年7月30日（土）10:00～12:00
開催場所	さぬき市役所本庁舎3階会議室
参加人数	市民16名、職員13名、中学生14名、中学生引率教諭2名、計45名
主な内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 現総合計画の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2次さぬき市総合計画とは？ ・ 計画策定の背景となる社会潮流 2 市民及び中学生アンケート調査結果 <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査の概要 ・ さぬき市に対する意識 3 SDGsの理念や関連分野 <ul style="list-style-type: none"> ・ SDGsとは ・ SDGsを自治体行政に当てはめて考える 4 他自治体での事例 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の意見を取り入れた「さぬき市版SDGs」の事例 ・ SDGsの視点を取り入れた総合計画での掲載事例 5 ワークショップの目的や作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークショップの目的、作業内容や流れ

第2回：ワークショップの実施内容

【実施概要】

開催日時	2022（令和4）年8月6日（土）10:00～12:20
開催場所	さぬき市役所本庁舎3階会議室
参加人数	市民18名、職員14名（うち傍聴2名）、中学生14名、中学生引率教諭2名、計48名
グループ構成	・市民グループは「産業・観光」「安全・安心・環境保全・市民協働」「教育・文化」「福祉・医療」の4グループ、中学生は2グループ、計6グループ構成
テーマ	「さぬき市の課題と解決策を提案する」
作業の流れ	STEP1：オリエンテーション～進行説明及びグループリーダーの選出など STEP2：本市の強みと弱みの抽出～抽出された強みと弱みを施策分野ごとに分類（グルーピング）する。 STEP3：解決策の検討～魅力（強み）を更に魅力的にするため、また、課題（弱み）を魅力（強み）に変えるための解決策を提案する。 STEP4：ワールドカフェ～グループリーダー以外の全員が、自由にほかのテーブルに移動し、グループリーダーは新しいメンバーを迎えて意見交換する。

【グループ発表と情報の共有】

1 産業・観光グループ

注目された魅力と課題	<ul style="list-style-type: none">・課題と認識したのは、魅力はいっぱいあるが発信力が弱い点だ。また、雇用、定住対策をしていく上で、子どもが魅力的だと思える企業や場所、コミュニティを醸成していかないといけないのが課題と解決策だと考えた。・発信力について、観光地は自然が豊かで、寺があることだが、市外から来てもらう、知ってもらうということが大事だ。さぬき市を知らない人が多い。自分も移住者だが、こういった資源があることを知らなかった。・自分もさぬき市に来てから、海がきれい、山がきれいと思ったので、観光の解決としてはイベントや体験型の宿泊という企画力やイベントに来てもらい、知ってもらって「いいな」と思ってもらえることではないか。
------------	--

1 産業・観光グループ

<p>注目された魅力と課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業振興について、まず企業を知らない。中学生はどんな企業があるか、どんな仕事があるのか分からない。どういう仕事をしていいのかが具体的に分かっていないので、そこをどう伝えていくかだ。 ・ イベントをする、ポスターを作成して校内に貼り出すなどやっていけないのではないか。 ・ 子どもの定住や雇用について、企業を知らないこともあるが、減っているので企業の誘致も必要だ。 ・ 農業や漁業は休みが不定休、あるいは休みがないのが雇用面でのネックだ。また給料がそんなに高くない、休みや福利厚生も重要視していくという話が出ていた。 ・ これからもっと若い人が魅力的に感じる仕事があればよいし、創業、起業ができるとうい。 ・ 外から来る人に対して、もう少しオープンになる。空き家を貸し借りするとなると、移住者と地元の人との交流面でハードルがあると思うので、地元の人も交流意識を高めていけたらよいと思った。
-------------------	--

<p>付箋紙のメモ (抜粋) ※</p>	<p>魅力(強み)</p>	<p>【 観光振興 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上がり三ヶ所寺とお接待文化、結願寺 ・ 屋外音楽ホール、テアトロン ・ 歴史のある町並み ・ 海あり山あり豊かな海岸・景色など自然環境に恵まれている ・ 人情的に豊かな市（特に高齢者） <p>【 雇用・定住対策 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 温暖で安定した気候 ・ コンパクトで住みやすいまち ・ 地域住民の結びつき、地元コミュニティの強さ <p>【 産業振興 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 京阪神へのアクセス、ICが3か所 ・ 農用地が多い、特産品を作る、どこにもまだないオリーブ米 ・ 農耕地の広さ、大きさ ・ 下請け企業が多い。（タダノ関連集積）、工業団地
	<p>課題(弱み)</p>	<p>【 観光振興 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光地が多いのに市外の人には全く知られていない。 ・ 発信力が低い。 <p>【 雇用・定住対策 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業等市内に多くあるのに高校生、大学生からなかなか就職希望がない。働く場所、種類が見つげにくい。 ・ 市の将来性を強く感じない。

※ 「付箋紙のメモ」については、誤字等の修正を除き、原文を尊重して記載しています。(以下同様)

1 産業・観光グループ		
	課題(弱み)	<p>【 産業振興 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 休耕田が多い。 ・ 農産物はこれだ！というものが少ない。 ・ さぬき市としての個性がない。 ・ 若い世代が農業に参入してほしい。担い手不足 ・ 大規模に収益を得られる農家さんが少ない。
付箋紙のメモ (抜粋)	更に魅力的にするために(弱みを強みに変えるために)	<p>【 観光振興 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 産業・観光を結びつけた事業 ・ 地元のカラーを生かした行事 ・ 来てもらう、知ってもらう。(イベント) ・ 体験型宿泊施設 ・ 更なるSNSでの観光情報の発信 ・ 地域の子どもたちの遊び場 ・ 観光資源は、まず地元住民に積極的に利用してもらう。 <p>【 雇用・定住対策 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上がり三ヶ寺をもっと活用すべき。 ・ 後継者に対する援助の増加 ・ 女性農業者のグループを作る。 ・ 市内中小企業等を早い段階で知らせる。中学生対象の企業説明会等、企業誘致、企業の成長 ・ 小さなコミュニティ ・ 一人でも安心して暮らせるまちづくり ・ 子育て支援 ・ 若い人が自由な発想で仕事をつくれる。 ・ 地元根差した空き家のプラットフォーム ・ テレワーク ・ プログラミング、SE (システムエンジニア) <p>【 産業振興 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 果物狩り、ジェラート、パフェ、クレープ、牧場、触れ合い、ソフトクリーム ・ お金の面だけではない、休み、福利厚生部分を良くする。 ・ 企業が逃げ出さない。 ・ 地元就職(知ってもらう)、企業説明会、就職説明会 ・ ポスターに表・グラフで仕事を紹介する。 ・ 農業の社会化(法人化)、テレビ・マスコミに農家さんと出演

2 安全・安心・環境保全・市民協働グループ

注目された
魅力と課題

- ・ 環境から交通、市民協働とテーマが広い。ほかのグループとかぶることがかなりあったのではないか。
- ・ 交通以外では後継者不足や担い手が少ないこと、若者が入れる環境がしっかり整っていないというのが弱みとしてかなり挙げた。
- ・ 環境保全では「ゼロカーボン」の取組が進んでいる、環境や文化的な資源がたくさんあることに対して、空き家が多いという弱みがある。
- ・ 移住者の増加や民泊をして外から呼び入れることが、強みに変えていくためには必要だという話が進んだ。
- ・ 市民協働は、それなりに発信力はあるが、SNSやインターネットといった媒体を使っての情報発信が甘いのではないか。私もSNSを使って発信しているが、認知度がまだ低いということも課題が出てきたことにつながるのではないか。
- ・ もう一つ、各地にコミュニティは存在しているものの、コミュニティ単位でしか活動できていないため、市全体として線としてのつながりがないことが課題になるのではないか。地域間の情報共有を増やす、後継者や中間に入る人、地域の若手や担い手を増やしていくことがこれから課題になるのではないかと考えた。
- ・ 防災・防犯については、消防団や自主防災会があるが、若手が入ってこないことがあるし、熱の入り方の差が大きい。特に、防災は企業の協力が絶対的に必要になってくるのではないか。勤めている人が有事の際、上司から許可を得て現場に駆け付けやすくなるような体制づくりや企業内でのBCPなどのルール作りも必要になってくるのではないか。
- ・ 道路整備・公共交通はコミュニティバスがある、JRと私鉄両方あるのは良い所だ。また、国道や県道が整備され、市街地へのアクセスが良いのは強みだが、道が狭いことなど交通系の発展に関してはまだ弱い。利用者が少ないからなのかといった原因は深掘りしていない。
- ・ JRの路線整備や会社の合併という話が出たが、もう少し力を入れるべきではないか。



2 安全・安心・環境保全・市民協働グループ

<p>付箋紙のメモ (抜粋)</p>	<p>魅力(強み)</p>	<p>【 防災・防犯 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サイレンの音が鳴る装置がある。 ・ 防犯灯は最新のLEDに交換している。 ・ 人とのつながりがある、助け合える。 <p>【 道路整備・公共交通 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通死亡事故死者数が市としては少ない。 ・ コミュニティバスがある。 ・ 国道や県道が整備されていて市街地まで車で行きやすい。 ・ JRと私鉄両方通っている。 <p>【 環境保全 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境・文化的資源が豊富 ・ 海、山がある。 ・ 市のゼロカーボンへの取組 <p>【 市民協働 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ CATV、SCNニュース ・ 広報を見ている人が多い。 ・ 地域コミュニティである自治会の加入率が高い。 ・ 町をより良くしようと考えている人が多い。
	<p>課題(弱み)</p>	<p>【 防災・防犯 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域につながるのある人の減少 ・ 警報などが出たとき避難する人があまりいない。 ・ 火災情報がメールで流れない。 ・ 消防団員の減少（特に若年層） <p>【 道路整備・公共交通 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 11号以外交差点に信号が少ない気がする。 ・ 道が狭い、車が離合できない。 ・ 東西と比較し南北のつながりが弱い。 <p>【 環境保全 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家が多い。 <p>【 市民協働 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議会のインターネット中継がない。 ・ コミュニティが地域ごとに点在している。

2 安全・安心・環境保全・市民協働グループ

付箋紙のメモ (抜粋)	更に魅力的にするために (弱みを強みに変えるために)	<ul style="list-style-type: none">【 道路整備・公共交通 】・ 会社の合併・ J Rの路線を複線に【 環境保全 】・ 耕作放棄地の調査・ 再発見ツアーの実施・ SNSやインターネットを利用して発信を増やす。・ 移住者の増加・ 民泊に改造する。【 防災・防犯 】・ 企業協力・ 学校や公共施設の連携による子どもと地域のつながりの強化・ 消防団の活動状況をもっと可視化する。【 市民協働 】・ 地域間の情報共有を増やす。・ 後継者を増やす。
----------------	-------------------------------	--



3 教育・文化グループ

注目された 魅力と課題

- ・ 歴史・文化交流の強みは、お遍路の文化や昨日から始まった瀬戸内国際芸術祭、四国八十八か所霊場の寺があるという歴史的な魅力がたくさんあることだ。
- ・ 弱み・課題として挙げたのは、それを知る機会がない。自分も1か月前にさぬき市へ来たが、あまり知らなかった。知る機会や場所がないという話が出ていた。
- ・ 対策としては、ないものを作り上げる、どうにかしようという話ではなく、あるものを生かして発信できる工夫をしたり、もっと良くしたりしようという話だった。具体的な解決策として、ハード面で看板を街に作って分かりやすくする、地域おこし協力隊員を増やすというのも挙げた。
- ・ 人と人をつなげるイベント、AIやVRといった最新の技術を使った発信をもっとしていったらいいのではないかという話も挙げた。
- ・ 学校教育は、強みがたくさん挙げた。面白いと思ったのは、少子化で少人数クラスになっているので、逆に量より質となって強みになるのではないかという話だ。生徒も素直でやる気のある人が多く、先生方もすごく真面目で熱心な人が多いという話で強みとして挙げた。
- ・ 悩みとしては、子どもの数が少なくなったので、子どもたちが同じことを一緒に経験できる機会が少なくなっているために、多様性のある価値観が育まれなくなっているのではないかというのがあった。
- ・ 対策としては、たくさん強みがあるので、やっていることをインスタグラムなどで発信する。
- ・ 面白いのは「平賀源内プロジェクト」だ。天才を創る、人の強みを生かしたり伸ばせたりするようなプロジェクトがあったら面白いのではないかという話が挙げた。
- ・ 休憩時間に中学生に話を聞いたら、新型コロナウイルス感染症の影響で、学校以外の勉強や課外活動などが制限されていて、気がめいるということだった。技術や英語を学びたいという話があったので、地域でそういうことに触れられる機会があったらよいと思った。面白いと思ったのは「人材バンク」だ。教えたい人と学びたい人が、オンラインでもよいがリアルでつながれるプラットフォームを作るといいのではないかという話もあった。

3 教育・文化グループ

付箋紙のメモ (抜粋)	魅力(強み)	<p>【 歴史・文化・交流 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域とのつながりが強い。 ・ 自然豊かで大きな公園がある。 ・ 歴史のあるお寺（志度寺、大窪寺）がある。 ・ 遍路ウォーク等上がり三ヶ寺を利用した市をあげてのイベントがある。 ・ 瀬戸芸 <p>【 学校教育 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援教育に手厚い。福祉との連携 ・ クラスが少人数 ・ ふるさと教育に力を注いでいる。 ・ 市内の学校の連携がしやすい。 ・ 校舎が新しく設備が充実している。 ・ 高校において農、工、商業、家庭、普通科の全ての分野がそろっている。 ・ 縦横の連携 ・ 素直でやる気のある子ども、真面目で熱心な教員・学校 <p>【 生涯学習・スポーツ 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ設備が充実
	課題(弱み)	<p>【 歴史・文化・交流 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学べる場が限られている。 ・ 高齢化により文化の伝承が図られていない。 ・ 人口が減り地域の行事が伝承できなくなっている。 ・ お寺の歴史や魅力を知らない。 ・ 学習の場が少ない。 <p>【 学校教育 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの数が少なくなり一緒に経験する機会が少なくなっている。（多様な価値観を得にくい。） <p>【 生涯学習・スポーツ 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 選択肢が少ない。



3 教育・文化グループ

<p>付箋紙のメモ (抜粋)</p>	<p>更に魅力的にするために (弱みを強みに変えるために)</p>	<p>【 歴史・文化・交流 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小さな公園の周辺施設を充実する。 ・ 昼の学習スペースはある、夜の部も設けて若年層にも拡張したい。 ・ 地域イベントの継続 ・ 文化を発信する場 ・ 一般社団法人さぬき市津田地区まちづくり協議会 ・ 主要道路や道の駅に周知できる施設を作る。 ・ リゾート開発、海、山、田畑 ・ コアになるのは有名どころ ・ VR×お寺 ・ おいしい食事をする所 ・ 日本（世界）から人が呼べるような発信を工夫する。 <p>【 学校教育 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 徳島文理大学（移転予定）の跡地にレンタルラボが入れば新産業の育成ができないか。 ・ インスタなどで魅力を発信 ・ 外部からの指摘により魅力に気付くこと ・ 発信方法の工夫 ・ 市民、プロいろいろな人の力を借りる。 ・ 地域学習（ふるさと学習）の充実 ・ 実物に触れる、人に触れる。（詳しい人、地域を愛している人、貢献している人） ・ 地元4高校と地元の企業や地域団体との連携を継続する。 <p>【 生涯学習・スポーツ 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学、高校の連携（市と県、私立）を強化する。 ・ 平賀源内プロジェクト「とんでもない才能」を育てる。 ・ 空き家に人を呼び込む（人口増、子ども増） ・ 小さな図書館活動 ・ 活躍できる仕組みづくり（人材バンク） ・ 行政主導ではない仕組み ・ 文化財、人材、あるものを生かす。 ・ 官民連携、マッチング
------------------------	---------------------------------------	---

4 福祉・医療グループ

注目された 魅力と課題

- ・ 子育て・生活支援でのさぬき市の強みは、保育所が充実しているので入りやすい、病児保育など子育てをしやすい環境の制度が整っていることだ。
- ・ 対して、子どもが気軽に遊びに行ける場所や公園デビューする場所、気軽に家族同士で交流する場所が少ないのが問題点だと感じたので、もっとカフェや散歩道というような交流できる、気軽に遊びに行ける場所を増やす解決策を考えた。
- ・ 福祉については、面白い意見が出た。
- ・ さぬき市はワンルームマンションが多いが、大学がなくなると空室が増えていく可能性がある。そこでそのマイナス点をプラスに考え、一人で生活したい人を応援する形を作ったり、リフォームして移住してもらえるための利用につなげたりという意見が出た。
- ・ 地域交流が少なくなっているが、福祉の充実のためには地域の交流を深める、お互いに協力していくことに課題があると感じた。
- ・ 健康・医療は市民病院があり、近くにかかりつけ医がいる病院が多いと思っている。基本的な制度や病院は整っていると思う。
- ・ 車がないと受診が難しい、待ち時間が長いと、利用している際に不満に思うという点が挙げられたので、コミュニティバスをもっと充実させたり、乗り合いタクシーを増やしたりして、誰でもすぐに利用できるようにする改善が必要だという結果となった。

4 福祉・医療グループ

<p>付箋紙のメモ (抜粋)</p>	<p>魅力(強み)</p>	<p>【 子育て・生活支援 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アプリなどを利用して子育て相談をしやすい環境 ・ 保育所に入りやすい。 ・ 産婦人科がある。 ・ 子ども医療費の充実 ・ 子どもがすぐに受診できる。 ・ 子育てサロンがある、赤ちゃん訪問をしている。 ・ 子育てしている人が集まる場が充実している。 ・ 病児・病後児保育がある。 <p>【 福祉 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害のある人が必要なサービスを使っている。 ・ デイサービスや高齢者が集まる場がある。 <p>【 健康・医療 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども医療の支援が整っている。(病児保育など) ・ 市民病院がある。市内に必要な診療科がそろっている。 ・ 歯科が多い。地域に個人クリニックがある。 ・ 災害拠点病院 ・ 自然があり健康的だ。海、山、自然が豊かである。 ・ 人々がおだやか
	<p>課題(弱み)</p>	<p>【 子育て・生活支援 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公園がない、公園デビューができない。 ・ 近隣や地域の間人同士の交流が少ない。 ・ 自治会長になったら困る。 <p>【 福祉 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時要支援者への制度が不十分 ・ 民生委員の人があまり知られてない。 ・ 地域の行事のときに、全員に声を掛けられない。 ・ 集える場所・会場が少ない。 ・ 自治会に参加しない高齢者一人暮らしの人がいる。 <p>【 健康・医療 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受診の選択肢がない。 ・ 市民病院病室が空いている。 ・ 救急を受けない。 ・ 車がないと受診が難しい、生活に不便がある。 ・ 待ち時間が長い。

4 福祉・医療グループ

付箋紙のメモ (抜粋)	更に 魅力的に するために (弱みを強 みに変える ために)	<p>【 子育て・生活支援 】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 24 時間いつでも子どもを保育所に預けることができるようにする。・ 緑のある散歩道を作る。カフェの北側に公園を作る。 <p>【 福祉 】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 一人で生活したい人を応援する。・ 高齢者・障害者に使いやすいリフォーム・ 空き家をリフォームして移住する。・ 要支援者を知る。・ 知り合いを増やす。 <p>【 健康・医療 】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 地域連携している医療・ 人間ドックで観光もできる。・ コミュニティバスの充実・ 乗り合いタクシー・ 外科系の医療の充実・ 待ち時間の案内表示・ スマホを使えるよう教えてもらえる。・ 高速バスで関西の病院に行ける。
----------------	---	---



5 中学生グループ①

注目された
魅力と課題

- 中学生の目線で一番魅力だと思ったのは、さぬき市は自然が多い所だ。海もきれいで、山も自然が豊か、お遍路文化もあるなど強みは多いと思った。
- どうやって自然を更に魅力的にするかということだが、日本中どこも自然が豊かなので、それだけでは勝負できない。そこで何かとがったものをプラスする。例えば、自然を生かしたキャンプ施設、海に人を呼ぶために砂浜に何か作る、海鮮のおいしい海の家を作るといいという面白い意見が出た。
- 地域交流では、伝統的な行事が減っていると感じる。例えば「あばれみこし」「かぐや姫カーニバル」が最近なくなったので、また復活させるのはいいと思う。
- 香川県やさぬき市にはうどんの店や飲食店が多いので「うどんポイント」や「ボランティアポイント」を作り、貯めたら商品がもらえる仕組みにして経済を回す。
- さぬき市でアプリを作り、良い所や観光名所、マップを作ったりするといいのではないか。中学生として、スポーツの大会をもっと増やしたら、他校との交流の場ができて地域の交流が生まれると思う。



5 中学生グループ①

<p>付箋紙のメモ (抜粋)</p>	<p>魅力(強み)</p>	<p>【 ごみ、街のきれいさ 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 景色がとてもきれいで自然豊か。 ・ 道路の手入れや学校の建物の手入れをしてくださっている。 ・ ごみが落ちていない。 ・ 道路がきれい。 <p>【 利便性 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツクラブが多くあり習い事でスポーツをしやすい。 ・ うどん店など飲食店が多くある。 ・ 交通（電車、バスなど）が多くある。 ・ バリアフリーが多い。 ・ スポーツできる場所が多い。 ・ 安全に登下校ができる。 <p>【 自然・災害・防災 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難場所がある。 ・ ボランティアが多い。 ・ 災害などが少ない。 <p>【 地域交流 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の方々との関わりが多い。 ・ 子どもたちが遊べる公園がある。 ・ 安心して暮らすことができる。 ・ 地産地消をよくしている。
	<p>課題(弱み)</p>	<p>【 人口 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人口が減っている。都会へ出ていっている。少子高齢化 <p>【 自然 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然が守られていない。海にごみが多い。 ・ 生き物が大切にされていない。 <p>【 交通 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路整備ができていない所がある。 ・ 街灯が少なく、暗いとき危険、歩道が狭い、夜道が暗い。 <p>【 環境 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光地が少ない。 ・ 大型の商業施設が少ない。 ・ 子どもの遊び場が少ない。 ・ 田や畑など、草が生い茂り、手入れが行き届いていない土地が多い。

5 中学生グループ①

<p>付箋紙のメモ (抜粋)</p>	<p>更に魅力的にするために(弱みを強みに変えるために)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然がきれいに保てるように地域の人たちでボランティア活動をする。 ・ 自然を他の町にアピールする。 ・ 団地の中に広い自然いっぱいの公園を作る。 ・ 自然を保護する活動を行う。 ・ 自然が多い、緑が多い、海や川などの水がきれい。 ・ 防災グッズを増やす、施設を強化する。 ・ 小・中学校でボランティアを積極的に行う。 ・ 亀鶴公園のさくらはきれい。 ・ 山などの自然が豊かでお遍路という観光資源もある。 ・ サイクリングコース、海と山を回れる。 ・ さぬきうどんのお店を集め、グランプリを作り、それをお祭りにする。 ・ なくなってしまったお祭りを復活させる。 ・ お祭りを増やすために支援金を出す。 ・ うどんポイントやボランティアポイントを作り、貯めたら商品券をもらえるという仕組みを作る(うどんポイント:うどんを食べる、ボランティアポイント:ボランティアをする)。 ・ さぬき市でアプリを作り、良い所や観光名所を書いたり、マップを作ったりする。 ・ スポーツの大会を増やす。 ・ 自然を生かした施設を作る。 ・ 海に人を呼び込む、海鮮の美味しい海の家 ・ 空き地や空き家を動物の保護施設や交流の場所にする。
------------------------	----------------------------------	---

6 中学生グループ②

注目された
魅力と課題

- ・ 良いことも課題もたくさん出た。
- ・ 特に、注目したのは四つで、自然、遊ぶ場所、ごみ、さぬき市の良い所を他県に紹介できていないことだ。
- ・ 自然はさぬき市の強みで、川や山がたくさんあってよいと思う。しかし、あるだけでは良い所にならないので、もっと魅力的にするために、自然を守るための運動をする、人がたくさん寄ってくるような植樹などの活動をする、自然と触れ合える場所が少ないのでそういう場所を作る。人が集まると思う。
- ・ ごみについては、海にたくさんごみが捨てられているので、ボランティアで地域の人皆がごみを拾ってきれいな海や街にしていけばいいと思う。
- ・ 遊ぶ場所については、子どもの遊ぶ場所がどんどん減ってきている。面白い意見だと、アミューズメントパークを小さくても作る、公園などの施設をもっと作る、何もない広場みたいな所を広く使えるように施設を作るといったのがあった。
- ・ さぬき市の良い所は、ウェブサイトやパンフレットで広める、動画をつくって他県に広める。他県の友達や家族にさぬき市の良い所を教えてあげれば、人が集まってくる市になると思う。

6 中学生グループ②

付箋紙のメモ (抜粋)	魅力(強み)	<p>【 地域の人とのつながり 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 近所の人とのつながりがたくさんある。あいさつしている。 <p>【 災害 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害が少ない。 <p>【 自然 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然豊かで動植物の種類が多い。 ・ 自然がしっかりと残されている。生き物がたくさんいる。 ・ 小中学校に不満がない。エアコンを設置している。 ・ 作物、農業がたくさんある(作っている人)。 ・ ちょっとした小さいお店がある。 ・ 静かで落ち着いている。
	課題(弱み)	<p>【 お店 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンビニが遠い。 ・ 近くにお店がなく少し不便 <p>【 自然 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 草が歩道などに飛び出ている。草や木が整備されていない。 <p>【 ごみ 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広い砂浜はあるが、漂流物や捨てられたごみなどで汚くなっている。海辺にごみが捨てられている。 ・ 空き地が多い。 <p>【 交通 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路に柵がないから怖い(一部)。 ・ 住宅地の歩道が狭い。カーブミラーが少ない。 ・ 交通機関が少なく、お年寄りが移動しにくい。 <p>【 遊ぶ場所 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが遊べる場所が少ない。 ・ 運動などができる広場が少ない。 <p>【 子ども 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが少ない。 ・ 小学校や中学校の生徒数が減少している。 ・ 良い高校が少ない。 <p>【 P R 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他の市に良さを十分に伝えられていない。

6 中学生グループ②

<p>付箋紙のメモ (抜粋)</p>	<p>更に 魅力的に するために (弱みを強 みに変える ために)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の人や友達に会ったら、自分から積極的にあいさつをする。 ・ 自然を守るための運動を進める。 ・ 植樹などの活動をするボランティア。生き物、植物を大切に する。花を踏んだりしないようにする。 ・ 学校や自治体を巻き込んだ、地域のクリーン活動をする。 ・ 交通整備を今よりも意識する。 ・ 自然と道路の境目を作る。 ・ アミューズメントパークなど、小さくてもいいので作る。 ・ 草や木が生い茂って使えなくなった公園を整備する。 ・ 公園などの施設を増やし、子どもが育ちやすいようにする。 ・ 何も無い場所を広場にする。 ・ 使わなくなったボールや自転車を広場に置く(寄付)(捨て られる可能性がある)。 ・ 職場を増やし、人を集める、子どもも増える。 ・ 節水を呼びかける。節水を心掛けるようにする。 ・ 水をむだ使いしない。気をつける。 ・ いろんな市や県の友達や家族に教えてあげる。 ・ ウェブサイトやパンフレットなどで良い所を広める。 ・ 香川県はアート県ともいわれているので、アートのイベント を開催する。 ・ さぬき市の良い場所をたくさん紹介する動画を作る。 ・ さぬき市の魅力を伝える。
------------------------	---	---



第3回：ワークショップの実施内容

【実施概要】

開催日時	2022（令和4）年8月20日（土）10:00～12:00
開催場所	さぬき市役所本庁舎3階会議室
参加人数	市民17名、職員14名（うち傍聴2名）、中学生10名、 中学生引率教諭2名、計43名
グループ構成	・ 市民グループは「産業・観光」「安全・安心・環境保全・市民協働」「教育・文化」「福祉・医療」の4グループ、中学生は2グループ、計6グループ構成
テーマ	「さぬき市版SDGsを創る」
作業の流れ	<p>STEP1：オリエンテーション～進行説明及び前回の振り返り、今回のワークショップの進行説明</p> <p>STEP2：出された解決策に該当するSDGsの17のゴールについて、意見交換する。集約された解決策について、各グループで優先したいものから順に、17の「ゴール」のうち、当てはまる「ゴール」を169の「ターゲット」の考え方も踏まえ、グループ内で意見交換する。集約された解決策に対応して、候補となる「ゴール」ナンバーをカードに記述し、模造紙に貼り付ける。</p> <p>STEP3：さぬき市版SDGsについて意見交換する。「ゴール」ナンバーを貼り付けたら、さぬき市に合った名称やキャッチフレーズについて意見交換し、候補名を別のカードに記述し、模造紙に貼り付ける。</p> <p>STEP4：ワールドカフェ～グループリーダー以外の全員が、自由にほかのテーブルに移動し、グループリーダーは新しいメンバーを迎えて意見交換する。</p>

【グループ発表と情報の共有】

1 産業・観光グループ					
さぬき市版SDGsの考え方について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「観光振興」「雇用・定住対策」「産業振興」について話し合ったが、最終的にはつながって、持続可能な発展につなげていく必要があるという話になった。 ・ 「観光振興」については、地元で「来てもらう、知ってもらう」ことが大切だ。自然の資源が多くあるという所で「大串半島での産直マーケット」を行う。イベントを行うことで来てもらって知ってもらうことが大事だ。 ・ 来てもらって定住や雇用につなげていこうということで「雇用・定住対策」では「後継者を探す」「起業家支援」が挙げられた。産直で働く場、チャレンジできるようなショップができればよいという話になった。 ・ 来て、知ってもらって定住するという形態もあるが、今住んでいる若い人にどうアプローチしていくかということで「産業振興」で「商工会・農協・漁協が協力して就職体験会を実施する。」が出た。三者が連携して何かをする機会が少ないという弱点がある。そのため、協力して体験会を開き、今どんな仕事をしているのか、また、さぬき市で働くということを知ってもらうことで、さぬき市で働こうと思ってもらい、定住につなげたらよいという話があった。 				
提案されたさぬき市版SDGs※	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; vertical-align: middle;">解決策について</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 【 観光振興 】 ・ 地元カラーを生かす。 ・ 来てもらう、知ってもらう ・ 地元住民にも利用してもらう。 【 雇用・定住対策 】 ・ 後継者への援助、若手起業家への支援 【 産業振興 】 ・ 地元の就職先を知ってもらう。 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: middle;">さぬき市版SDGs</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 【 観光振興 】（関連SDGs番号は14、15、17） ・ 大串半島での産直マーケットの開催 ・ テアトロンでの市民利用 【 雇用・定住対策 】（関連SDGs番号は8、9、11） ・ 農業・漁業が産直販売する。 ・ チャレンジショップ 【 産業振興 】（関連SDGs番号は4、17） ・ 地元の就職先を知ってもらう。 ・ 商工会・農協・漁協が協力して就職体験会 </td> </tr> </table>	解決策について	<ul style="list-style-type: none"> 【 観光振興 】 ・ 地元カラーを生かす。 ・ 来てもらう、知ってもらう ・ 地元住民にも利用してもらう。 【 雇用・定住対策 】 ・ 後継者への援助、若手起業家への支援 【 産業振興 】 ・ 地元の就職先を知ってもらう。 	さぬき市版SDGs	<ul style="list-style-type: none"> 【 観光振興 】（関連SDGs番号は14、15、17） ・ 大串半島での産直マーケットの開催 ・ テアトロンでの市民利用 【 雇用・定住対策 】（関連SDGs番号は8、9、11） ・ 農業・漁業が産直販売する。 ・ チャレンジショップ 【 産業振興 】（関連SDGs番号は4、17） ・ 地元の就職先を知ってもらう。 ・ 商工会・農協・漁協が協力して就職体験会
解決策について	<ul style="list-style-type: none"> 【 観光振興 】 ・ 地元カラーを生かす。 ・ 来てもらう、知ってもらう ・ 地元住民にも利用してもらう。 【 雇用・定住対策 】 ・ 後継者への援助、若手起業家への支援 【 産業振興 】 ・ 地元の就職先を知ってもらう。 				
さぬき市版SDGs	<ul style="list-style-type: none"> 【 観光振興 】（関連SDGs番号は14、15、17） ・ 大串半島での産直マーケットの開催 ・ テアトロンでの市民利用 【 雇用・定住対策 】（関連SDGs番号は8、9、11） ・ 農業・漁業が産直販売する。 ・ チャレンジショップ 【 産業振興 】（関連SDGs番号は4、17） ・ 地元の就職先を知ってもらう。 ・ 商工会・農協・漁協が協力して就職体験会 				



※ 「提案されたさぬき市版SDGs」については、誤字等の修正を除き、原文を尊重して記載しています。（以下同様）

2 安全・安心・環境保全・市民協働グループ

<p>さぬき市版 SDGsの 考え方について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな意見が出たが、二つピックアップして発表する。 ・ まず「防災・防犯」について、課題（弱み）として「消防団員への企業協力」を挙げているが、消防団員に限らず、町を守ることや良くしようなど活動している人に企業の協力を促す。例えば、火災のとき、工作中だから行けないのではなく、気兼ねなく消火活動に入っていけるように、市として「補助金や税制優遇」を活用して、活動に入りやすくする体制を築いていくのがよい。 ・ 次に「環境保全」について、課題（弱み）として「移住者の増加」「民泊に改造する」ということを挙げている。いきなり移住するのはパワーがいるため、ショートステイという形でさぬき市を知ってもらう機会を作るということで「体験ハウスの増加」がでた。「徳島文理大学の移転や高校の合併により出てくる学生マンションの空き家を活用するのがよい」という意見が出た。
------------------------------------	--

<p>提案された さぬき市版 SDGs</p>	<p>解決策 について</p>	<p>【 防災・防犯 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人とのつながりがある。助け合える。 ・ 学校や公共施設などが協力して子どもと地域のつながりを強める。 ・ 消防団員への企業協力 <p>【 道路整備・公共交通 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JRと琴電の連携を強化する。 ・ 高架を作る。 <p>【 環境保全 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大串、津田の松原、結願三寺等を有効に活用する。 ・ 移住者の増加。民泊に改造する。
---------------------------------	---------------------	---



<p>さぬき市版 SDGs</p>	<p>さぬき市版 SDGs</p>	<p>【 防災・防犯 】（関連SDGs番号は8、11、16、17）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ながら見守り」を積極的に発信する。 ・ 「あいさつWeek」を作る。 <p>【 道路整備・公共交通 】（関連SDGs番号は9、11）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バスを活用し志度駅と長尾駅をスムーズに巡回できるようにする。 ・ コミュニティバスの本数を増やす。志度高の踏切。 <p>【 環境保全 】（関連SDGs番号は4、11、14、15、17）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 再開発ツアーの実施 ・ 大串のインフラ整備 ・ 体験ハウスの増加。例えば、文理大学移転後の学生マンションを活用する。 ・ 宿泊者への特典の付与（エリアクーポン等）
-----------------------	-----------------------	---

3 教育・文化グループ

<p>さぬき市版 SDGsの 考え方について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「歴史・文化・交流」「学校教育」「生涯学習・スポーツ」の課題を話した。大きなテーマとして「今ある資源を生かす」があり、それをもっと強化することや弱みをうまく発信していくことがテーマにある。 ・今ある地域の人材や企業を活用すること。具体的には、さぬき市出身のプロや専門家、企業が講演会を開催する場を作る。 ・いろいろなことをやっている人はいても、民間だと発信する力が弱いことや場所を借りる際に行政を通さないといけないが、それが面倒なので協力してくれないという現状がある。行政も機動的に活動してもらえるような連携が取れないかという話が挙げた。 ・さらに、具体的なこととしては「移動図書館とキッチンカー」さぬき市出身の映画監督がいるので「映画祭を行う」が挙げた。 ・このほか、今ある資源として「古民家を活用したい」という意見があったが、空き家バンクだと情報が遅く、どこに誰が土地を持っているか分からないので「地域の人が持っているネットワークを行政が窓口になって管理する」などして、借りたいときにアクセスしやすいような管理を行う。 	
<p>提案された さぬき市版 SDGs</p>	<p>解決策 について</p>	<p>【 学校教育、歴史文化交流 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ さぬき市の魅力の発信 ・ レンタルラボを文理大の跡地に作る ・ 公園周辺施設の充実 ・ 地元4高校と企業の連携 <p>【 歴史・文化・交流 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域学習のさらなる充実 ・ 古民家を活用した交流の場づくり <p>【 生涯学習スポーツ 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小さな図書館活動 ・ 今あるものを生かす 
<p>さぬき市版 SDGs</p>	<p>さぬき市版 SDGs</p>	<p>【 学校教育、歴史・文化・交流 】（関連SDGs番号は4、9、11、17）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ レンタルラボに市民大学を設置する。 ・ さぬき市に関連するプロ人材や企業に講演会をしてもらう。（歴史・農業・産業） ・ 地域の人材、企業の活用 ・ ワークーション施設を大串自然公園に開発する。 ・ 空き家、場所の窓口を行政が管理する。

4 福祉・医療グループ		
<p>さぬき市版SDGsの考え方について</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・「子育て・生活支援」は「近隣・地域の交流の場を増やす」「子どもと一緒にイベントを作る」という意見が出たが、結局人のことを知らないともできないとなり、さぬき市版SDGsで「源内マルシェ」をしようということになった。そこで「世代を超えた人の集まる居場所づくり」や「子育て触れ合いやマルシェ」になるのではないかと考えた。 ・「福祉」の魅力（強み）はワンルームマンションがたくさんある点で「一人で生活したい人を応援する」にした。さぬき市版SDGsは「孤立のない自立を目指す」で、近くに住むことで困ったときに相談できるが、自立しないといけないということで強みにしている。 ・「健康・医療」は、さぬき市で「人間ドックをして、さらに、観光も一緒にしないか」ということで「海と山と田んぼと畑ともろもろ見ながら癒やしと健康をさぬき市でいかがでしょう」のキャンペーンをしたらよいのではないかと考えた。
<p>提案されたさぬき市版SDGs</p>	<p>解決策について</p>	<p>【子育て生活支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣、地域の交流の場を増やす。 ・子どもと一緒にイベントを作る。 <p>【福祉】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人で生活したい人を応援する。 <p>【健康医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間ドックでさぬき市を観光
	<p>さぬき市版SDGs</p>	<p>【子育て生活支援】（関連SDGs番号は3、4、11、16）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世代を超えた人の集まる居場所づくり ・子育て触れ合いマルシェを創ろう ・源内マルシェ（ものづくり） <p>【福祉】（関連SDGs番号は1、3、11）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・孤立のない自立を目指す。 <p>【健康医療】（関連SDGs番号は3、17）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海と山で癒やしと健康を



5 中学生グループ①		
<p>さぬき市版 SDGsの 考え方について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回話し合った内容の中で良かった解決案を一人二つずつ出し、それについて、自分で深掘りをして発表を行い、意見を深める形をとった。その中で良いと思った意見を二つ発表したい。 ・ まず「地域交流」の「うどんポイントやボランティアポイントを作り、貯めたら商品券をもらえる仕組みを作る」解決策について話し合った。 ・ うどん店がある場所のマップを作成したり、うどんを作っている工場見学などのツアーを作ったり、商品券だけでなくさぬき市の特産物などももらえる対象にして、さぬき市をもっと知ってもらえるようなイベントをすれば良いのではないかという意見が出た。 ・ 二つ目は「環境」の「自然を他の町にアピールする」という解決策で「さぬき市の良さを全国へSNS大作戦」だ。「YouTube やTikTok などで開催されているショート動画という機能を使い、さぬき市の Vlog やレビューなどを作り、SNSを使って全国の人に知ってもらおう作戦だ。例えば「動画作品のコンクールをする」「動画を高校生などから募集する」など「市としての意外性を大切に活動」だ。「市なのにこんな動画を作っているの？」という興味を持ってもらうきっかけになるといいと思っている。最近企業もそういう動画を作っていることが多いので、さぬき市も知ってもらえるきっかけになると思っている。 	
<p>提案された さぬき市版 SDGs</p>	<p>解決策 について</p>	<p>【 地域交流 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「空き家のリノベーション」～地域交流の施設～ ・ 動物との触れ合い、カフェなど ・ 「さぬきうどんグランプリ」 ・ 香川県にかかわらず、県外からもうどんの店を集め、うどんの魅力を上げると同時に人を集める。 ・ うどんポイントやボランティアポイントを作り、貯めたら商品券をもらえるという仕組みを作る。 <p>【 利便性 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 働く場所が減っている。 ・ 空き家が多い。空き家を改築し、働く場所に変える。 <p>【 環境 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然を他の町にアピールする。YouTube、TikTok、インスタなど ・ 子どもたちが自然と触れ合いながら遊べる自然いっぱいの公園を団地に作る。

	<p>解決策 について</p>	<p>【 地域交流 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「小・中学校でボランティア」 ・ 清掃活動（海、山、道路） ・ 祭りの参加や盛り上げ ・ 高齢の方との交流 <p>【 地域交流・交通 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院や図書館などが少なく、遠い人は行きづらいので、バスで「・・・病院行き」の交通を増やす。
<p>提案された さぬき市版 SDG s</p>	<p>さぬき市版 SDG s</p>	<p>(関連SDG s 番号は 8、9、11、12、14、15、17)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家を活用！！「リノベーション大作戦」 ・ 高齢化が進み空き家をよく見かけるようになった。そこで、空き家をリノベーションし、新しい施設へと変化させ活用する。 ・ 動物と触れ合える場 ・ 図書館×カフェ ・ グランピング施設 ・ 地元企業との活動、支援 ・ 亀鶴公園の駐車場で小さいうどんの屋台を出し、うどんの良さを伝えると同時にステージでさぬき市の良い所を伝えたり見てもらったりする。 ・ さぬきの良さを全国へ（SNS 大作戦、YouTube、TikTok、ショート動画（動画ブログ）やレビューなどを作り、SNS を使って知ってもらう作戦）例えば「動画作品コンクールをする。」「動画を高校生から募集する」など ・ 「意外性」を大切にする。（市なのにこんな動画を作っているという興味を持ってもらうきっかけに。最近は企業もそういった動画を作っている。） ・ 花壇を置く、ボランティア活動で植える。季節ごとに変える。（周りに自然が多い場所に公園を作る。） ・ 何か特徴のある、さぬき市のスポットを生み出す。 ・ 団地を整備して、公園を設立することや公園の中に遊具を増やし、子どもが遊びやすい環境を作る。 ・ ボランティア・清掃活動自体をお祭りにしたり、お祭りの屋台の一つに取り入れたりする。

<p>提案された さぬき市版 SDG s</p>	<p>さぬき市版 SDG s</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小・中学校で自然グループ、祭りグループ、交流グループに分かれ、小・中学生合同でボランティアを行う。 ・ 自然グループ：海、山、道などの清掃を行う。 ・ 祭りグループ：祭りを盛り上げるために店を出したり、踊ったりする。 ・ 交流グループ：地域の高齢の方と話をする。 ・ 三大ボランティアで交流の輪を広げよう！ ・ さぬき市内を周回する特別なバスを用意し、子どもや高齢者、障害者でも通しやすいバスツアーなどを増やす。
----------------------------------	------------------------	---



6 中学生グループ②

<p>さぬき市版 SDG s の 考え方について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回の意見で多かったものや大切にしたいものを重点的に話した。大切だと思った「自然保護」と「交通安全」について話した。 ・ 「自然保護」の「自然を守るためのボランティアをする」では「海のごみを使ったアート展を開く」というのがあった。アート展を開くことで、どれだけのごみを出しているか分かるし、展示によってほかの市町からも来てもらえるので、さぬき市を紹介するイベントにもなると思う。また「海を使って水上アスレチックを作る」というのがあり、これにユーチューバーなどが来てくれたら、さぬき市の紹介になると思った。 ・ 「交通安全」の「交通整備をする」では「整備した道を使ってさぬき市全体でマラソンのイベントなどを開く」というのがある。整備していない道でもよいが、イベントで地域とのつながりも生まれるのでよいと思った。また「歩道にあるマンホールのふたをめっちゃかわいくする。看板と同じ役割を果たすようにする。」という意見があり、これをする事でほかの市町から写真を撮りに来たりする。ふたはかわいいだけでなく、ほかの特徴的なものでもよい。
--------------------------------------	--

	<p>解決策 について</p>	<p>【 地域の人とのつながり 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の人や友達に会ったらあいさつする <p>【 自然保護 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然を守るためのボランティアをする <p>【 交通安全 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通整備をする
<p>提案された さぬき市版 SDG s</p>	<p>さぬき市版 SDG s</p>	<p>(関連SDG s 番号は 11、14、15、17)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の人と一緒にあいさつ運動をする ・ 市全体であいさつ習慣をする。 ・ 地域で集会を開く ・ 海のごみを使ったアート展を開く ・ 津田の松原を定期的に見回りする。 ・ 掃除ポイントみたいなものをつくり、参加したらそれが貯まって、地域で使えるようにする(ポイントもらえる所は決める)。 ・ 津田の松原で地面に落ちている枝のような物の掃除を、ボランティアでする。 ・ 松ぼっくりでアート体験をできるような機会を作る。 ・ 同じ地域に住む人々でボランティアを協力してする。 ・ 自然と触れあえる広場を地域で作る。 ・ ごみ拾いのイベントを開催して、多く拾った人を表彰する。

<p>提案された さぬき市版 SDG s</p>	<p>さぬき市版 SDG s</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海を使って水上アスレチックを作る。 ・ 長尾街道沿いに店や遊び場をたくさん作って、スピードを出させない。 ・ 車道と歩道を広くして、事故などを少なくなるようにする。 ・ 歩道が狭いから、そこを広げる。 ・ 歩道の整備をする。（ラインを引く、車道とブロックで分ける。） ・ 歩道まで出てきている木を整える。 ・ サイクリングイベントのコースに、交通安全の看板を作る。 ・ 警察と連携して、スピードを出させないようにする。 ・ 整備した道を使って、さぬき市全体でマラソンのイベントなどを開く。 ・ 歩道にあるマンホールのふたをめっちゃかわいくする。看板と同じ役割を果たすようにする。
----------------------------------	------------------------	--

